

第34回交流審査会（令和7年2月21日）についての市川委員御意見

- 交流派遣から国に復帰した後、すぐに辞めた者について、どのような理由で辞めたのか把握することが重要。
- 交流派遣・交流採用ともに官民人事交流開始時点での基本的な研修が重要。国の機関に（交流採用で）人を送ると、しっかりと研修や育成をしてもらえるということが分かれば、企業側としても交流採用で人を出しやすくなると思う。
- 交流派遣から復帰したときのポジションには一定の配慮が必要。また、官民人事交流から復帰したときに、交流前の幹部が変わっていて居場所がなくなるといったことがないよう、各府省は交流期間中にも交流派遣者に対してしっかり情報共有することが大事であると思う。
- 特に若い人はSNSから情報を入手するので、人事院においてもSNSを活用して官民人事交流の情報を発信することが重要と思う。
- 人事院が各府省の必要としている交流採用者数を集計するなど、国の機関と民間企業とのマッチングをするような仕組みがあると良いのではないかな。